

白 方 の 風

【学校教育目標】自ら学び考え、心豊かで
健やかに生きる児童の育成

令和7年度
No.32
東海村立白方
小学校
2025.12.12
児童数452人

残すところ今年も3週間弱となりました。2学期の学習のまとめの時期になっています。今学期は、年間の中で最も授業日数が多い学期です。各学年とも学習内容が多く、繰り返し復習を行い、学んだことを今後の学習に生かせるようにしております。また、これまでに取り組んだドリルやデジタル問題などで、間違ったり、解くために多くの時間を使ったりしたものを重点的に復習しております。やり直しや見直しをすることで理解が深まっていき、解くまでの時間が短縮され、同じような間違いが少なくなっています。

授業参観・懇談会

～ お家の方に見ていただき、学習への意欲が高まりました。 ～

11月28日（金）に第2学期末の授業参観・懇談会を行いました。今回も多くの保護者の皆様に、ご来校いただき誠にありがとうございました。ご家族の方に参観していただき、児童の顔には嬉しい気持ちがあふれていました。懇談会後には、新入部員も加わった金管バンド部の演奏会もご覧いただきありがとうございました。

〔授業内容〕

- 1年生 1組 カボチャのつる（道徳）
2組 はしのうえのおおかみ（道徳）
2年生 1・2組 町のキラリを広げたい
町のきらり発表会
3年生 踊ってみよう！ブレイクダンス体験
4年生 性と自分らしさ～多様な性について考えよう
5年生 1組 工業生産を支える運輸と貿易
2組 帯グラフと円グラフ
3組 カンジー博士の暗号解読
6年生 1組 てこのはたらき
2組 心と体の安全
わかば・けやき・つくし・ことば
Thanksgiving Day(英語)



師走（しわす）のいわれ

～ いくつか説があるようです。 ～

年の暮れは、仏教の法要「仏名会（ぶつみょうえ）」などが行われる時期です。お坊さんである、師が各家庭を回って読経を行うなど、非常に忙しく走り回る姿が昔から見られました。この様子から、「師が走る」⇒「師走」という言葉が生まれたと言われています。つまり「師走」とは、師（僧侶）が東西を駆け巡るほど忙しい月という意味となったようです。

今でも「先生や上司が走り回るほど慌ただしい時期」というニュアンスで使われるのは、この語源の名残のようです。

また、「御師が走る月」といったものから生まれたという説もあります。御師とは、神社や寺院の参拝者を世話したり、宿泊を手配したりする人のことです。昔は信仰の中心である伊勢神宮などで活動し、年末は特に忙しい時期だったようです。そこから「御師の走る月」⇒「師走」と呼ばれるようになったという説です。他にも説はあるようです。

いずれにしても年末へ向けて、多くの皆様がとて忙しい時期になるかと存じます。大人の方が忙しい時などに、お子様が熱を出したり、体調不良になったりすることがあります。また大人の方が忙しいため、目が届きづらくなることから、事故やトラブルに巻き込まれてしまう可能性もあります。学校では教職員一同、児童の命と健康を守ることができるよう力を尽くして参ります。ご家庭でも年末年始のお子様の生活の様子について注意深く見守っていただければと存じます。